

魯山人
和の美を問う
今、



つばき鉢 1938年 何必館・京都現代美術館蔵

何必館コレクション

北大路魯山人展 — 和の美を問う —

2017年4月15日(土) — 6月11日(日) 会場 大分県立美術館 3階 展示室 B

開館時間 10:00 ~ 19:00 ※金曜日と土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで) 休展日 5月8日(月)、22日(月) ※コレクション展は開展

観覧料 一般 1,000 (800) 円 / 大学生・高校生 500 (300) 円

・() 内は前売料金 / 20名以上の団体料金・中学生以下は無料・学生の方は入館の際、学生証をご提示ください。・障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料・大分県芸術文化友の会 びび KOTO BUKI 無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO 無料、UME 団体料金・コレクション展の半券で、本展を団体料金でご覧いただけます。また、本展の半券で、コレクション展を団体料金でご覧いただけます。

チケット(前売券・当日券) 販売場所 / 大分県立美術館、iichiko 総合文化センター 1F インフォメーション、トキハ会館 3F プレイガイド、中央町プレイガイド、エトウ南海堂、大分市府内五番街商店街振興組合 大分県芸術文化振興会議、大分県職員消費生活協同組合、ローソンチケット(L83555)、チケットぴあ(P768-215)、大分合同新聞社本社受付・同プレスセンター、OBS 大分放送本社

主 催 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館 共 催 大分合同新聞社、OBS 大分放送 特別協賛 三和酒類株式会社

後 援 大分県、大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、西日本新聞社、NHK 大分放送局、エフエム大分、OCT 大分ケーブルテレコム

企画協力 何必館・京都現代美術館

北大路魯山人展 — 和の美を問う —

ROSANJIN KITAOJI

京都上賀茂の社家に生まれ、書家、篆刻家として出発した北大路魯山人(1883-1959)は、陶芸をはじめ書・絵画・漆芸・篆刻・金工など、個性溢れる作品を数多く生み出しました。また、美食の追及からその実践の場として「美食倶楽部」、「星岡茶寮」を創設し当時第一級の政治家や財界人、文化人らが集うサロンとして、その名は全国に広まりました。鎌倉の「星岡窯」で、魯山人自身が使うために生み出された器の美しさは、日本だけでなく、海外でも高く評価されています。昭和29年にニューヨーク近代美術館で「魯山人展」が開催されたのをはじめ、国内外で多くの展覧会が開催され、

魯山人の作り上げた美学は没後半世紀を経た今もなお、人々を魅了してやみません。「^{かひつ}何必館・京都現代美術館 魯山人コレクション」は、館長である梶川芳友氏が50年に渡り蒐集した、日本随一の内容を誇る魯山人コレクションであり、本展では、その中から厳選された作品約100点を、「陶」「書」「茶」「花」「食」の5つのテーマに分け、古材や更紗、根来などと取り合わせ展示いたします。魯山人の作品は、「使う」ことで一層の輝きを放ちます。生涯をかけて日本の美と食を追求した魯山人の「和の美を問う」という、これまでにない充実した展覧会になります。この機会に是非ご高覧ください。

陶

当意即妙の連続



於里辺篋花入 1951年

書

書は下手形の上手がよい



閑林 1954年

茶

美的趣味総合大学



黒織部沓 1952年

花

花で絵を描くのが生花



備前旅枕花入 1958年

食

器は料理の着物



木の葉平向 1953年



北大路魯山人 略年譜

- 1883年 京都に生まれる。本名房次郎
- 1925年 星岡茶寮を開設
- 1927年 魯山人窯芸研究所 発足
- 1952年 魯山人生活誌『独歩』創刊
- 1955年 人間国宝の指定を固辞
- 1959年 ジストマによる肝硬変にて死去

● ギャラリー・トーク

日時 4月22日(土)、5月6日(土)
5月20日(土)、6月3日(土) いずれも13:30-14:30

場所 大分県立美術館 3階 展示室B

案内 当館学芸員 参加費 無料(要観覧券) 申込不要

● 記念出版 「和の美を問う 北大路魯山人」 3,240円



交通案内

- ・JR 大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分
- ・大分ICから車で10分

OpAM
Oita Prefectural Art Museum

大分県立美術館 〒870-0036 大分市寿町2番1号 Tel 097-533-4500 Fax 097-533-4567 <http://www.opam.jp>
Oita Prefectural Art Museum 2-1 Kotobuki-Machi, Oita, Japan 870-0036 Tel: +81(0)97-533-4500 Fax: +81(0)97-533-4567